

ごみ モラルの向上が絶対条件

社会問題になっているごみ処理対策については、積極的に取り組んでいます。現在、不法投棄監視員や保健衛生課職員による定期パトロールで、不法投棄の実態を把握しましたが、今後は捨てられない環境づくりに努める必要があります。そこで、不法投棄されてい

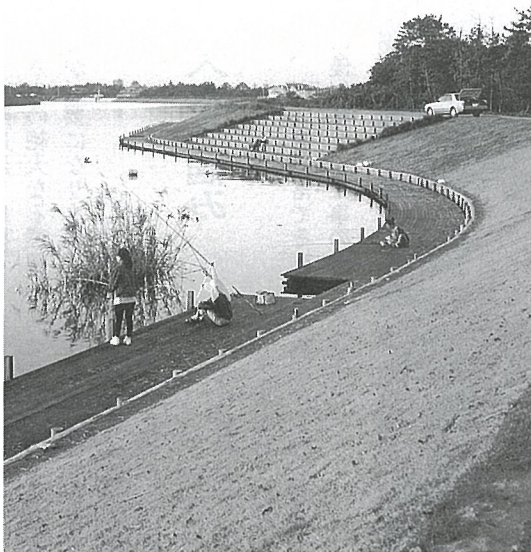
る箇所については、町で重機等を手配し、集落の協力をいただきながら、不法投棄の解消に努めていきます。また、粗大ごみの処理については、町民のみさんの負担と経費が節約されるよう集落と町とが連携を密にし、事前に指定日等を設けて処理できる方法等を検討していきます。



不法投棄により環境が破壊されています

造成地の荒れた個所の草刈りについては、所有者宛に通知をして土地の管理をお願いしています。いずれにしても、ごみの適正処理や不法投棄防止に

ついては、一人ひとりのモラルに頼るところが大きいので、今後も根強くPRを行っていきます。



栗山川もこのように整備されます（屋形橋付近）

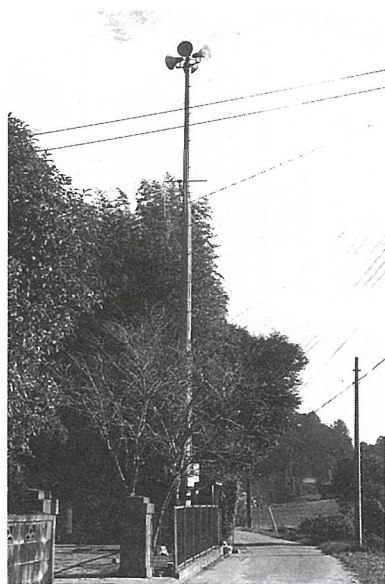
ふるさとの川モデル事業の指定を受ける

現在栗山川は、中小河川改良事業と住宅地関連公共施設整備事業により改修が進められています。戸地先から芝崎地先までの間が未改修になっています。栗山川は、今年度ふるさとの川モデル事業の指定を受け、屋形橋から上流約11kmの区間で、新たな整備が行

われることになりました。ふるさとの川モデル事業とは、水辺を貴重な水と緑の空間として、まちの景観形式や余暇の有効利用の場所とするため、町が整備計画をつくり、周辺の景観や地域社会と一体となった河川改修を行い、良好な水辺空間を形成するものです。

防災行政無線。パンザマストの増設

災害が発生した場合は、適切な情報を迅速に伝えることが一番重要になります。パンザマストをあまり増設すると混信をおこし、良好な情報を伝えることができなくなるので、専門的なことを研究したうえで検討していきます。



増設要望の多いパンザマスト

テレビ共同受信施設

テレビ電波中継局の開局に伴い、空港公団でテレビアンテナ受信切替工事が進められています。対象が山武地域まで広範囲であることから、一切終了するには、これからはしばらくかかるといふ報告を受けています。共同受信施設で対策を受けられている方々も原則として個別切替工事を行いますが、山陰等で受信が困難

と思われる地域もあることから、現在、空港公団で電波受信調査中であり、その結果、地域によっては、引き続き共同受信施設となる場合もあります。なお、その場合は対象範囲及び親アンテナの候補地等について、空港公団から説明がされるようになっていきますので、しばらくお待ちいただきたいと思ひます。